

契 約 の 内 容

契約の方式	随意契約
契約年月日	2026年7月17日
契約業者名	成田空港給油施設(株)
契約業者の住所	千葉県成田市三里塚字御料牧場 1 番 2
工事の名称	漏洩検知ケーブル復旧工事（2025）
工事場所	航空燃料パイプライン施設沿線（C10区間の一部）
工事種別	機械設備工事（航空機給油設備）
工事概要	航空燃料パイプラインの同軸漏洩検知システムの特定区間（27VH～成-3-1）において、障害が多発報しているため緊急施行を実施し復旧させる。 過去に当該区間の同軸漏洩検知ケーブルの引替を試みたが引き抜くことができず引替ができていない。 このため当該区間において、一部開削し引替を容易にするために新たに人孔を設置し改善したうえで同軸漏洩検知ケーブルの引替を実施する。 【土木工事】 ・同軸漏洩検知ケーブルの引替工事のために開削・土留め・埋め戻し・人孔の新設および既設人孔へ配水管設置を行う。 【漏洩検知ケーブル敷設・撤去工事】 ・カメラを用いた管路内調査・同軸漏洩検知ケーブル引替工事・ケーブル撤去工事。
工期（自）	2025年8月29日
工期（至）	2026年8月31日
契約金額	57,860,000円(税込み)
制限価格	57,860,000円(税込み)
右に記載する事項 （○で囲む） 1. 一般競争の参加資格 2. 随意契約の相手方とした理由 3. 総合評価方式における評点 4. その他	調達事務要領第37条別表 6 (2) (a) 緊急調達 自然災害や人為災害の発生により空港施設の破損又は破損の恐れがあるため応急措置を目的とする場合、機器又は設備等の障害や故障など予見不可能な急迫の事態により第三者被害の恐れがある場合若しくは社会的・対外的に極めて著しい影響を及ぼす恐れがある場合の工事等の調達であって、公告の期間等を短縮してもなお競争契約に付す時間的余裕がなく、緊急に施行する必要があるとき。 調達事務要領第37条別表 6 (5) (a) グループ内契約 成田国際空港株式会社法第 5 条第 1 項第 1 号から第 3 号に関連する業務（設計及び調査を含む）を、業務遂行（協業）体制を有する連結子会社に継続的かつ専門的に実施させることにより、技術・運用情報の共有、業務ノウハウの蓄積、効率的な業務運営、人材の育成を通して熟練度を高め、一貫した責任処理により空港の安全確保又は安定運用を図る必要があるとき。又は、業務を連結子会社にアウトソースすることで、事務の一元化による効率的な業務運営を図ることが可能と認められるとき。